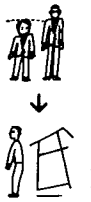
低

四年

画数 7
筆順 亻 仁 低 低 低
オン テイ
クン ひく＝い ＝まる ＝める

成り立ち



「家の〝床下（底 4年 583）〟」という意味の〝氐〟と、〝亻〟とを組み合わせて作った字です。

〝底〟は一番下の〝ひくい〟ところですから、〝低〟は、「とてもせの〝ひくい人〟」という意味の字です。しかし、今では〝人〟にかんけいなく、〝ひくい〟ことを表すのに使われています。例低音、低温、低気圧。

程度や調子や状態が〝悪い〟意味にも使われます。例低級、低調、低迷。

また、「頭を下げる」ことを〝低頭〟といいますが、「頭を〝低くする（低める）〟」という意味のことばです。

使い方

▽キャッチボールをしていて、うっかり隣の家のガラスを割ってしまい、平身低頭してあやまりました。

熟語例

▽低音（低い音。また、〝低い声〟のいみにもつかいます。）

▽低温（低い温度。「この時期は、よく低温注意報が出るので、農作物に気をつけなくてはいけない」などというふうに、つかいます。）

▽低気圧（まわりとくらべて気圧が低い所。「低気圧のせいで雨が降り出した」などというふうに、つかいます。）

▽低級（程度が低いこと。「あんな低級なことを言っているようではだめだ」などというふうに、つかいます。）

▽低調（調子が悪いこと。「今年の米のできぐあいは、どうも低調だ」などというふうに、つかいます。）

▽低迷（調子が悪く、その状態から抜け出せないこと。「このところ、景気の低迷が続いている」などというふうに、つかいます。）

底

四年

画数 8
筆順 广 广 庀 庀 底 底
オン テイ
クン そこ

成り立ち

なん代にもわたってすみ、古びてかたむき、くいちがった家の形を表した〝氏（年 4 529）〟に、ささえのぼうを床下に加えた〝氐〟と、〝家〟の形を表した〝广〟とを組み合わせて作った字です。

「家の床下」のことを表した字ですが、今では「物の一番下の所（そこ）」という意味に使われています。例海底、底流、払底。

また、書物をほんやくしたり、校訂したりする場合によりどころとする本のことを〝底本〟といいます。

使い方

▽おかあさんは、「たまには徹底的に部屋をきれいにしたらどうなの」といいますが、到底ひまがありません。でも、一応そうじはしています。

熟語例

▽海底（海の底）

▽底流（海や川の底の方の流れ。また、表面にはあらわれない動きのことをいいます。「この問題の底流には、両者の長い間にわたっての憎しみがある」などというふうに、つかいます。）

▽払底（底まで払うことから、物が品切れになることをいいます。「木材が払底していて、家を建てることができない」などというふうに、つかいます。）

▽徹底（底までつらぬくことから、物事をやりぬくこと。「あの人の仕事のやり方は徹底している」などというふうに、つかいます。「徹底的」というつかいかたが多くつかわれます。）

▽到底（どうしても。とても。後に「ない」などの否定の言葉を伴います。「あの光景は到底忘れることができない」などというふうに、つかいます。）